

「くしろエコ・フェア2022」

くしろエコ・フェア実行委員長 田丸典彦



2022年の「くしろエコ・フェア」は、皆様のご協力を得て無事開催できましたことに、心から感謝申し上げます。新型コロナ感染拡大の影響から、ほぼ3年間、多くの市民活動が抑制・自粛を余儀なくされる中、私たちも2020年、2021年の2年間エコ・フェア開催を控えてまいりました。しかし、増大する環境問題の重要性と市民活動の発表の場である「くしろエコ・フェア」の継続性を維持するため、今年、コロナ禍でも可能な取り組み方法を検討することとしました

2022年のエコ・フェアはコロナ対策としてパネル発表を主とし、開催時期は従来の国際環境月間の6月にこだわらず、環境に関する多くの目標を掲げているSDGsに賛同して、国連総会開催直後の10月1日とし「SDGsの視点から」を副題として加えることとしました。開催場所は、釧路市中央図書館のご協力を得て、同館の多目的ホールと展示室を展示会場としました。

また、次世代を担う子どもたちには、環境についての関心を深めてもらうため、継続した取り組みとして、エコポスターを募集しました。

3年ぶりの開催となりましたが、参加団体や協賛企業もこれまでとほぼ同様で、当日はコロナ禍にもかかわらず、100名余の参加者がありました。

「くしろエコ・フェア」は自然と人にやさしい、持続可能な地域社会とはどのようなものか、そのような課題を市民とともに考える場として2007年に発足しました。以後、自然環境、生活環境に関わる団体・個人・行政が、身の丈に合った日頃の活動を持ち寄り、発表する行事として継続、開催してまいりました。

さて、今年、感染症コロナの終息が見通せないまま、また、人類最大の環境破壊行為である戦争が止まない中での開催となりました。人類の生産活動に起因する気候変動やプラスチックによる海洋汚染も明らかになってきました、多くの人々が、現在の進行する環境破壊に素朴で率直な危機感を抱いています。環境にかかわる課題は複雑で多くの時を必要としますが、問題意識を失わないことこそが大切なことと思います。

私たちのささやかな取り組みが、環境にやさしい持続可能な地域社会作りに少しでも貢献できることを願い、実行委員会からのご挨拶といたします。

くしろ エコ・フェア 2022



地域に住む一人ひとりが『くらしと環境』について考え、思いを共有する場として、今年も「くしろエコ・フェア2022」を企画しました。さまざまな活動をしている団体に出会える場でもあるので、興味のある活動を見つけたら、積極的にご縁を結んでみてください！

10月1日 土

10:00~16:00

釧路市中央図書館

7F多目的ホール・展示室

＝入場無料＝

～SDGsの視点から～

くしろエコフェア2022は、主に環境分野に関わるSDGs目標をテーマとしたイベントです。



～今回のテーマ～

SDGsとは

貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続ける事ができなくなると心配されています。そんな危機から、世界中のさまざまな立場の人が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。持続可能とは、何かをし続けられる、ということです。SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を表現するために進むべき道を示した、つまり、ナビのようなものです。
(SDGってなんだろう? SDGsクラブ 日本ユニセフ協会より)

- 4. 質の高い教育を みんなに
- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 11. 住み続けられる まちづくりを
- 12. つくる責任 つかう責任
- 13. 気候変動に 具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを 守ろう
- 15. 陸の豊かさも 守ろう

2014年 釧路市子ども遊学館

2017年 釧路市生涯学習センター

2019年 イオンモール釧路昭和

SDGs
～環境パネル展示～

「SDGs～持続可能な開発目標
全17テーマのうち主に環境分野に関わる
団体の活動をパネルにて紹介します！」

エコポスター
コンクール作品展

「SDGs～自分にできること」をテーマに
したエコポスター作品が勢ぞろい！

13:00～受賞者表彰式

わくわく...

エコクイズラリー

ブースを回ってクイズに挑戦!!
参加者全員にプレゼントがもらえるよ!
どこかにヒントが隠れているかも!?

★プレゼントは数量限定!!

※本イベント会場へ来場の際は、マスク着用、手指消毒、受付名簿記入等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力
いただきますようお願いいたします。また、状況によって入場制限する場合がありますので予めご了承願います。
※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、本イベントが中止または内容が変更となる場合があります。

新型コロナウイルス
感染防止対策に
ご協力ください



主催：くしろエコ・フェア実行委員会

共催：釧路市教育委員会

事務局：釧路市民活動センターわっと内（釧路市末広町3丁目1番地）

TEL:0154-22-2232 FAX:0154-22-2234

info@946wat.jp Web: <http://www.946wat.jp/KushiroEcofair.php>

コンクール受賞者発表
イベントのお知らせは
こちらから →



<http://www.946wat.jp/KushiroEcofair.php>



<https://www.facebook.com/946wat/>

～SDGs環境パネル出展ブース～



主に環境分野に関わる目標7、12、13、14、15のほか、それに関連したSDGs目標および環境問題に取り組んでいる団体の活動をパネルにて紹介いたします！



釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

「釧路湿原再生事業現地見学会」ポスター展
湿原クラフト「湿原のなかまたち」展

北海道釧路総合振興局

みんなでめざそうゼロカーボン
ゼロカーボンや、環境保全に関するパネル展

釧路市役所環境保全課

2050年カーボンニュートラル達成をめざして
ゼロカーボンパークや一人ひとりができるゼロカーボン
アクションに関する展示

釧路市教育委員会マリモ研究室

マリモを守る ー保護と研究の取組ー
特別天然記念物指定70周年を記念した事業の一環として、
マリモの生態や保全活動・最新研究の成果などを紹介

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

(公財)日本野鳥の会のタンチョウ保護活動の紹介

冒険の杜プロジェクト

子どもたちを対象にした自然体験事業の紹介
今後の事業予定を紹介

釧路野外教育研究会

釧路地域の美味しい山菜と危険な毒草についてのパネル展示
ギョウジャニンニクやニリンソウ等、釧路地域で豊富に自生し
親しまれてきた美味しい山菜の
紹介と山菜と紛らわしいトリカブト等の危険な毒草の見分け方
の説明

釧路の魅力を作る会

釧路のジオスポット春採太郎とは？
春採太郎の紹介と見学会のパネル展示

釧路シャケの会

～空に丹頂 川にシャケ～
市民の手で育てたシャケの稚魚が成長して釧路湿原に
帰ってほしい思いをパネルで紹介

釧路キノコの会

キノコの写真展示、秋のキノコの展示、
およびキノコの資料の配布

市民フォーラム946

環境問題の本質を探し求めよう。
原子力発電、有害物質と公害、
二酸化炭素温暖化仮説

釧路ガス株式会社

ガスマイホーム発電
家庭用燃料電池『エネファーム』パネル展示

釧路市動物園ツル担当

「タンチョウ・レスキューの現場から
ー釧路市動物園のタンチョウ保護への取組みー」
特別天然記念物指定70周年を記念した事業の一環
として、タンチョウの生態や釧路市動物園でのレス
キューの様子などを紹介、他

海ねこみなと会

「足元から(身近なごみ拾い)」活動について
・海ねこミーティングについて

ご協賛企業・団体

国立大学法人 北海道教育大学釧路校後援会
学校法人ほっかいどう学院 くしろせんもんがっこう
株式会社釧路厚生社
株式会社リライアブル
一般社団法人日本自動車連盟釧路支部
ネイチャーテック釧路株式会社
釧路信用金庫
釧路ガス株式会社
学校法人緑ヶ岡学園 釧路短期大学
拓北地下開発株式会社
株式会社田中組

環境コンサルタント株式会社
葵建設株式会社
岩倉建設株式会社
沢田建設株式会社
釧路市役所環境保全課
釧路地方中古自動車販売事業協同組合
大地みらい信用金庫 釧路支店
株式会社釧路製作所
釧路信用組合
コープさっぽろ釧路地区本部

～ご協賛ありがとうございました～

順不同・敬称略

みんなをめざそうゼロカーボン

(SDGs 番号 13)



北海道釧路総合振興局

北海道釧路総合振興局では、SDGs 番号 13「気候変動に具体的な対策を」の視点から、地球温暖化のメカニズムに関するパネル展示、それに伴うクイズ、エコバッグの配布を行いました。

【パネル展示】

今回のパネル展示では、地球温暖化のメカニズムについて、小さな子供でも理解が出来るようなイラストを用いたパネルを展示しました。

地球温暖化の原因は何なのか、地球温暖化が進むことで、我々にはどのような影響があるのか、地球温暖化を食い止めるには、どうしたらよいか。

こういったことについて、大人から小さな子供まで、考えるきっかけとなれば良いなと思っております。

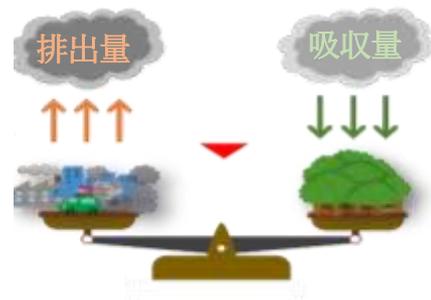
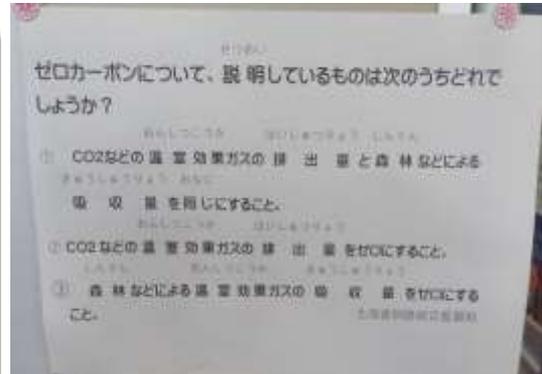


【クイズラリー】

クイズラリーでは、展示したパネルの内容を理解すれば、答えがわかるようなゼロカーボンに関するクイズを作成しました。

ゼロカーボンとは、温室効果ガスの排出量をゼロにするのではなく、温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量を、同じにする。というところがポイントです。

排出量を減らすだけでなく、吸収量も増やしていく必要があるんですね。



【エコバッグ配布】

振興局ブースに来ていただいた方に、エコバッグの配布も行いました。

こういった普及活動を通して、エコバッグの使用が浸透していけばと良いなと思います。



くしろエコ・フェア2022への参加報告

釧路市役所環境保全課

展示内容

今年のエコ・フェアは、主に環境分野に関わるSDGs目標をテーマとしていたことから釧路市環境保全課では、13番「気候変動に具体的な対策を」に関わるパネル展示をおこないました。



展示したパネルは、一人ひとりが取り組むことのできる「ゼロカーボンアクション」のパネル1枚、令和4年3月と7月にゼロカーボンパークに登録された、阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園の取組に関するパネル3枚の合計4枚です。



そのほか、パネルで見た内容を家で実践できるように、取り組みやすいゼロカーボンアクションをまとめたチラシや、釧路湿原に関するパンフレット等を配布しました。

たくさんの方々にパネルをみていただき、パンフレットを手にとっていただけました！

環境に関する情報発信について

釧路市環境保全課では、令和3年8月よりInstagramを活用した環境に関する情報発信に取り組んでいます。このエコ・フェア参加報告の場を借りて、公式Instagramの概要についてご紹介したいと思います。



●環境保全課・環境事業課公式Instagramについて

投稿数：219件

フォロワー：504人（12月1日時点）

←釧路市動物園のシロクマ、ミルクのイラストを使用したアイコンが目印です！



@ECOCITY946

ご家庭で取り組める節電や省エネのことから身近なごみのことまで、環境に関する情報を幅広く発信しています。

気軽に情報に触れることができるので、ぜひQRコードからアカウントを覗いてみてください！



●イベント情報の発信もしています

例年、6月の環境月間にあわせて、「環境月間パネル展」を開催しています。令和4年度は、5月～6月にかけて、1週間ごとに市内7施設をめぐるパネル展を開催しました。

このように市などが開催する、環境に関するイベント情報なども、Instagramでお知らせしています。

釧路湿原を知る、学ぶ、楽しむ

「こんな取り組みご存知ですか」

団体名：釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス
辻野 正（ワンダグリーンダプロジェクト）

【展示内容】

- 「釧路湿原自然再生事業地現地見学会」ポスター展
- ワンダグリーンダプロジェクト参加団体紹介
- 湿原クラフト「湿原のなかまたち」展

より多くの人に湿原の楽しさや魅力、価値を知っていただき、そこからまた新たな学びや参加・行動が生まれるよう、湿原に関わる多様な活動を情報発信いたしました。これまで湿原にあまり関りを持っていない方々との新たなつながりや活動、協力が生まれていくことを目指します。



■ワンダグリーンダ・プロジェクト 参加団体活動紹介

ワンダグリーンダ・プロジェクトは、湿原につながるのがある様々な取り組みからなる地域と自然再生をつなぐ「釧路湿原の応援団」です。多種多様な活動を多くの方々に知ってもらい、釧路湿原とみなさんの距離が近づききっかけになればと願っています。

■市民参加の機会づくり～ 再生事業地見学会の開催

地域・市民のみなさんを対象に、楽しみながら再生事業についての理解を深めていただけるよう、毎年開催している事業地ごとの多様なイベントを紹介いたしました。



■湿原クラフト（湿原のなかまたち）

釧路湿原に生息する野生種は、ほ乳類26種、鳥類約175種、昆虫類約1150種、両生類9種、魚類35種、植物約600種が記録されています。私感により生きている様子を紙という人工物で種を表現して家族のように「なかまたち」と称して紹介しています。様々な参考資料を集めいろいろ工夫しています。



湿原クラフト作家：辻野正



■湿原クラフトのあゆみ

ペーパークラフトを作るきっかけから現在に至るまでを紹介しました。エコ・フェアに集う方々が楽しみにしてくださるのを励みに、新しい作品を考え続けて十数年がたちました。

エコ・フェアにより私の作品のレベルが向上したことは過言ではありません。

今後も現状に合った活動を続けていきたいと思っています。



湿原クラフト作成工程

●模写原制作程

カレンダーの画像、雑誌等から取り合います。鳥類に似た動物を作りだすから創作意欲が湧き実行意欲が湧きます。

●原画の輪郭作成工程

原画を紙にフリーハンドで、定規を使い正確な輪郭を作成してパソコンに読み取ります。上からの撮影が重要です。

●原画修正工程

定規で原画からパーツを取り取り出して立体にします。動物の動きを再現します。

●原画作成工程

動物の輪郭をいくつかのパーツに分けて製作して着色します。

●試作品作成

試作品を組み立てます。

●修正工程

イメージどおりに出来たか？不具合がないか？修正を繰り返します。

●クラフトの完成

●作成要領の考案及び簡易キットの作成
動物の姿を紙に作りだすというコンセプトで、簡易キットを作ります。

■湿原クラフト作成行程

ペーパークラフトを考案する人は皆、「作っては壊し修正」、「作っては壊し修正」の繰り返しをして一つの製品の完成にこぎつける訳ですが。

自分は、「1枚の紙でゴミを出さない」を拘りとしています。

今回の題目は、「シマエナガ」ですが、かわいいとは何か？から始まり「まるみ」・「ふっくら」を考慮しての作品ですが上手く表現出来たかな？



【クイズの出題】

「シマエナガ」は卵をいくつ産むでしょう？



くしろエコ・フェア 2022

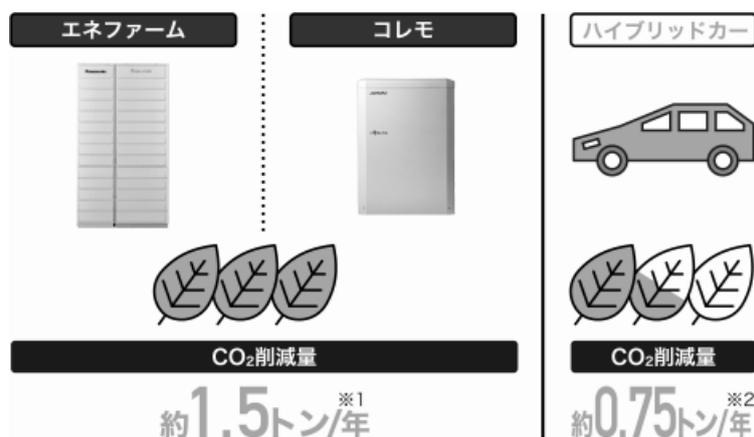
釧路ガス株式会社

SDGs 番号：未設定【環境問題側面の貢献で】

くしろエコ・フェア 2022 に参加させて頂きました。

釧路ガスでは家庭用燃料電池『エネファーム』についての展示パネルとカタログ、お子さま向けのノベルティをご用意しました。

『エネファーム』に関しては使用するだけで年間のCO₂を1.5トンも削減でき、環境に貢献できるという事、ランニングコストのメリット面、災害等の非常時対応などのお話をご紹介致しました。

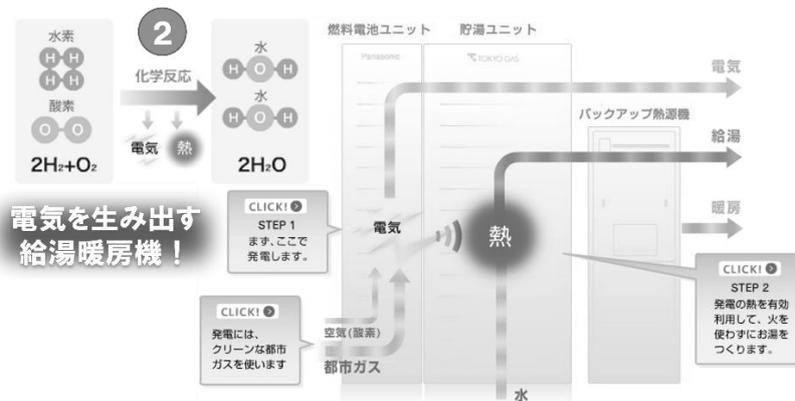


どうしてもイベントを行うときは「販売ベース」のお話をする事が多くなってしましますが、今回のエコ・フェアでは「幅広い世代への周知活動」を行うことが出来て大変貴重な場となりました。ありがとうございました！

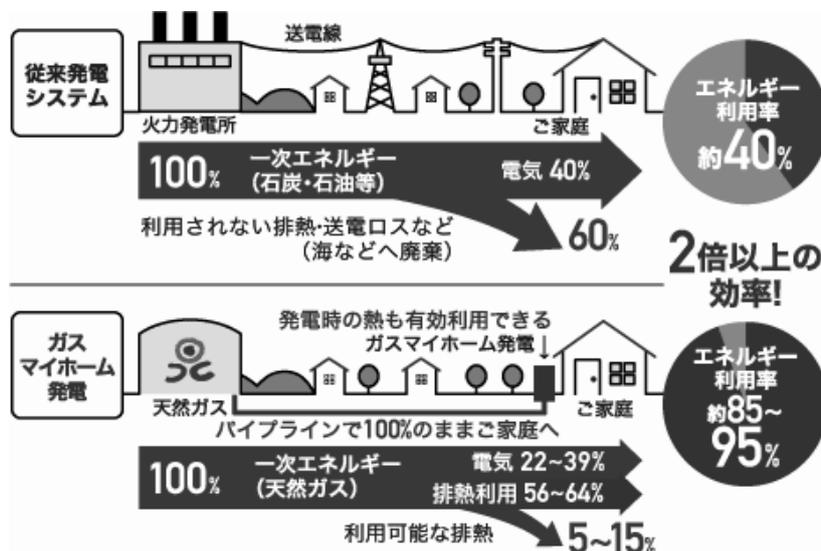
◎そもそもエネファームって！？ 皆様ご存知でしょうか？？

今回、この場をお借りしましてご説明したいと思います。

エネファームのしくみ(4つのステップ)



- ①都市ガスから水素を取りだします。
- ②水素と酸素の化学反応で電気と熱を作ります。
- ③電気はおうちで使い、出来た熱はお湯に変えて貯めておきます。
- ④足りないお湯と暖房は、エコジョーズが稼働します。



★ガスマイホーム発電の考えとは！？

【エネルギーを使う場所(家)で電気を作ること、同時に発生する熱もその場で使い切る!】というコンセプトになります。

ガスマイホーム発電の家が更に釧路で広がる事によって、環境への配慮、そして各家庭が分散型電源を持つことによって、有事の際にも備えることが出来る等、たくさんのメリットをこれからも周知活動をしていく必要性を感じております。次年度も継続して活動を続けていきたいと思っております。

地球を浄化するキノコのカ

釧路キノコの会 (SDGs 12, 15)

はじめに、コロナ禍での『エコ・フェア2022』の開催にご尽力くださいました実行委員会の皆様や参加団体の皆様大変お疲れさまでした。

釧路キノコの会もここ3年程の間、いつかは通常通りの活動ができるようになるだろうと思ひながら、会員のみで細々と観察会だけを行ってきました。

もう大勢での展示会や観察会はできないのでは、という不安が少なからずあった中での『エコ・フェア2022』の開催とそれに参加できたことは、私たちにとっての大変大きな希望になりました。

本当にありがとうございました。

キノコの会今年のテーマは『地球を浄化するキノコのカ』にしました。

例年、森の再生などを主なテーマにしてきましたが、今年は『SDGs 17の目標』のいくつかに沿った内容ということでこのような展示になりました。



私たちは、日頃キノコの会の観察会や個人的なキノコ採りを通して、キノコが森林に対し大変重要な役割を担っていることなど、自然界の様々なことを学ぶことができていると思っています。

キノコを採って食べる事は楽しいし、美味しくて幸せな気分になれるのですが、キノコはそれ以外にもっとすごい力を秘めているという事などを紹介したいという思いで、『キノコは美味しいばかりではありません』をサブタイトルにしました。

① ダイオキシン類を分解して汚染された土壌を、もとのきれいな土壌に戻す力のある菌類があること

ダイオキシン類の分解に用いられるのは、キノコの菌床栽培に利用され廃棄されるような菌床であること。

分解された後の廃棄物は、他の養分も含まれているので、植物の培養土としてすぐに使用することも可能であること。

② まだ実用化されてはいないが、プラスチックを分解する菌類が見つかったこと。

③ 菌類の菌糸を利用して、発泡スチロールなどの緩衝材の代わりにできるということ。

④ カワラタケなどの菌糸から出る酵素で、イペリット（マスタードガス）という毒ガスを分解、無害化ができるということ。

これらの事が SDGs 17の目標の12『使う責任、作る責任』や、15『陸の豊かさを守ろう』という目標に沿ったものになっていると思います。

キノコの会の活動について

キノコ観察会

6月から10月までの間に毎月1回くらいのキノコ観察会を行っています。

次年度からは、以前のように一般の方にも参加してもらえたらと思っています。

場所は主に釧路町別保の森林公園ですが、オンネトーや川湯仁伏に行く事もあります。

キノコ&キノコの写真展示会

キノコのハイシーズンにあたる9月に、キノコの展示と会員の撮ったキノコの写真を展示して市民の皆さんに見ていただく企画です。

会場で展示キノコの説明や、わかる範囲での不明菌の同定なども行う予定です。

2023年は9月9日（土）・10日（日）

場所 生涯学習センター（まなぼっと）を予定しています。

その他にも、釧路町別保小学校の3年生総合の時間に、キノコの探検と題した授業で子供たちと触れ合い、キノコに関する基礎知識を説明し、一緒に森林公園でキノコを探すようなことを、ここ数年にわたって続けてきました。

キノコの会今後の活動について

キノコというと食か、毒かという点に目が行きがちで、色々な場面で質問されるのが『このキノコ食べれる？』という質問です。

食用キノコはまちがいなくうまいです。

でもそれ以外にも『こんな魅力があるんですよ』という事などにも、もっと多くの人たちに興味を持ってもらえるように観察会、展示会を通じて発信していきたいと思っています。

釧路のジオスポット 春採太郎とは

釧路の魅力を作る会 (SDGs 目標 11)

くしろエコ・フェア2022にご参加の皆様、大変お疲れ様でした。

今年度は、副題が「SDGsの視点から」との事でしたので、市の指定文化財になっている天然記念物(春採太郎)の理解を深めていただく為の情報提供と自然体験の活動(見学会)のパネル展示をさせていただきました。



砂岩脈 (サンド・ストーン・ダイク) 春採太郎



砂岩脈 (サンド・ストーン・ダイク)

石炭が生成された古第三紀(約 3,800 万年前)に、亀裂が生じて上から砂が入って固まったもので「春採太郎」の愛称で親しまれています。このような砂岩脈は、釧路では知人岬から厚岸湾までの海岸に、大小 100 本以上あります。それらの岩脈の厚さは一般に 10 cm 以下で、1m を超えるものはほとんど見られません。しかしこの春採太郎は、幅 約 4m、陸地と海底を合わせた延長が数km、上下方向 300 m に及び、まさにその規模は日本一です。

釧路市の文化財 記念物

市指定天然記念物(昭和 50 年 1 月 12 日)

釧路市教育委員会 発行(令和 2 年 9 月)

釧路市 文化財マップより

SDGsとの関わり

SDGsの目標11（住み続けられるまちづくりを）のターゲット4に（世界の文化遺産および自然遺産の保全・開発制限取り組みを強化する。）とあり、

釧路市では、本市には指定文化財となっている多くの史跡や天然記念物等が自然と一体となっており、これらに身近にふれあうことができます。

私たちに安らぎを与えてくれるその歴史・文化的環境を良好な状態で保全し、今後も活用していくため、環境整備や情報発信に努める必要があります。

釧路市市民環境部環境保全課 発行

2次釧路市環境基本計画 令和3年（2021年）3月発行より

見学会の記録

釧路の魅力を創る会では、毎年5月頃に釧路市の興津の海岸の壁面に露出している砂岩脈〈春採太郎〉の見学を行っています。

2022年は新型コロナウイルスの影響もあり、

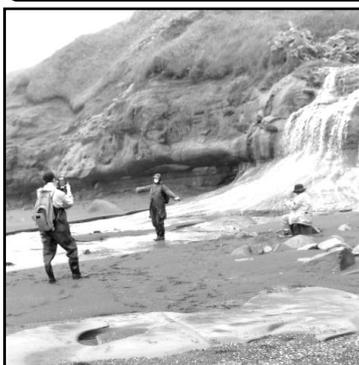
マスク着用 少人数 にて3回の見学会を行うことができました。

2022年		天候	気温	毎時推定潮位
天気		09時/12時	09時/12時	09時/10時/11時
1回目	5月31日	曇り/曇り	9.5°C/11.6°C	7 cm/4 cm/13 cm
2回目	6月16日	雨/曇り	14.4°C/14.3°C	-1 cm/-14 cm/-13 cm
3回目	7月15日	雨/曇り	18.0°C/19.6°C	2 cm/-10 cm/-8 cm

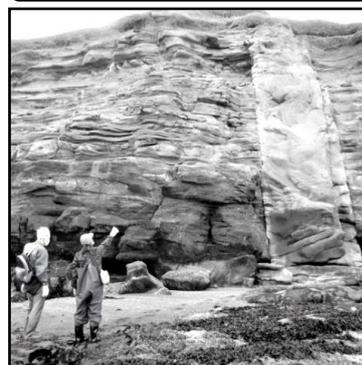
① 2022/05/31（春採次郎）



② 2022/06/16（春採大滝）



③ 2022/07/15（春採太郎）



本年 1 月 4 日鮭の発眼卵から 5 月 5 日の放流式までの記録写真展示

釧路シャケの会

SDGs 14.「海の豊かさを守ろう」、15.「陸の豊かさを守ろう」

屈斜路湖を源とする釧路川は現在新釧路川を通り太平洋に流れています。

私たち釧路シャケの会は釧路川が現在閉ざされている岩保木水門の一部を開け、幣舞橋を通り太平洋へと流れる以前の川に戻す事を目標に活動を行っております。その一環として、今年度は芦別ふ化場より発眼卵（鮭の卵）を 15,000 粒譲り受け当会の水槽と市民の団体、個人の人々が水道水で稚魚に成長するまで育て 5 月 5 日に一緒に釧路川に放流し、4 年後に釧路川に戻り釧路湿原で自然産卵をする命の循環を次世代の方々に伝えたいと思い活動しています。

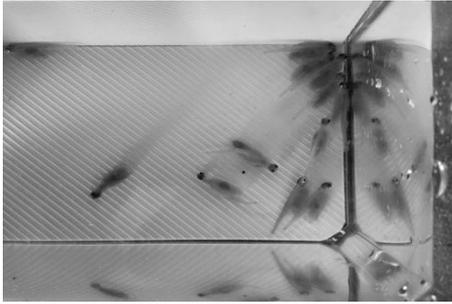


写真展示の詳細

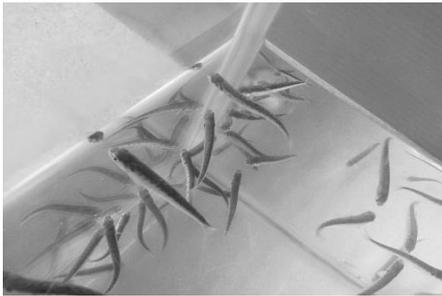
① 2022 年 1 月 4 日 水温 5℃ 芦別ふ化場から発眼卵 15,000 粒譲り受ける。



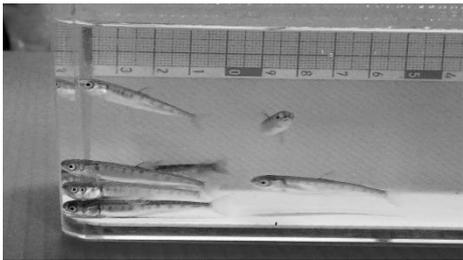
② 2022年1月20日 水温5℃ 発眼卵がほぼ孵化する。



③ 2022年3月26日 水温9℃ さいのうが取れ稚魚の一部が浮上する。



④ 2022年4月13日 水温13℃ 稚魚の体長が5cm以上に成長する。



⑤ 2022年5月5日 水温11℃ 放流当日、材木町の水槽からバケツに里親が育てた稚魚と当会が育てた稚魚を移しトラックにて材木町の釧路マリーナ横の船揚げ場から当日直接持参された里親と共に釧路川へ放流する。



タンチョウの魅力や保護活動を伝える

(公財)日本野鳥の会

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

(SDGs 目標 15)

今年度は、展示スペースの関係と開催日が10月1日で当施設の今シーズンの開館日初日と重なったため、パネル出展のみで当日も無人とさせていただきました。例年好評をいただいていた「タンチョウの実物大の巣のクッション&親鳥&ヒナのぬいぐるみ」※親鳥は重さも本物と同じ！ や本物の羽を使ったパフォーマンスもお休みです。パネルは当施設の概要と、日本野鳥の会のタンチョウ保護活動のうち、普及活動についての2枚を掲示させていただきました。





また、自由に持ち帰れる資料として、施設パンフレットやタンチョウのガイドブック、2019年度から2021年度までの活動報告書などを机上に置きました。

●SDGsとの関わり

SDGsの目標15（陸の豊かさを守ろう）のターゲット5に、（生物多様性の損失を阻止し、絶滅危惧種を保護し、絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。）とあります。釧路の人達にとりタンチョウは、地元の農家さんや小学校などでの給餌により絶滅の淵から回復してきた経緯があり、また釧路湿原を代表する野生動物として、世界中から観光客が訪れる、地域の誇りです。

タンチョウは現在、絶滅危惧のランクは一段階下がりましたが、越冬期に給餌場周辺への過密集中による鳥インフルエンザなどの伝染病の蔓延のリスクや、給餌による人馴れで、農業被害や交通事故などの問題も発生し、人と野生動物の共生の難しさにも直面しています。保護活動は、「個体数の回復」から「給餌に頼らず本来の自然環境で暮らせる個体が増えること」という次の段階を目指し、関係者による取り組みが続きます。



今回は初めての図書館開催ということで、各ブースの大きさに制限のある中、壁面で多くの面積を使わせていただき、ありがとうございました。新作はないのですが、以前には面積的な制約から展示できなかったパネルも張り出すことができました。

有害物・科学と疑似科学・原発・公害を扱っていますが、自分で書くよりも説得力を持たせるために、新聞記事を極力使うようにしています。ただ、最近は新聞も環境にかかわることというのは載せなくなってきていて、少し困っているところです。



例えば、新聞やテレビのニュースショーでは見ないことが、ネットニュースには出る、ということがあります。

「ぴちゅんくん」というキャラクターでエアコンのCMを出していた「ダイキン工業株式会社」という会社があります。エアコンだけではなく様々な工業製品、化学工業を担っているようです。大阪・摂津市の工場で、PFOSという物質を漏らしていたことがわかりました。

PFOS(ピーフォスと読む)・PFOA(ピーフォア)は、テフロン加工の際に使われる物質で、発がん性・生殖毒性・肝毒性・発達障害への危険性があるのでは、とみられているものです。(PFOS~ペルフルオロオクタンスルホン酸、PFOA~ペルフルオロオクタン酸)

水道水には入りませんでした。地下水を汚染し、家庭菜園で作物を作って食べていた人の体に入り込んでいることがわかりました。毒性の強さは多くのデータが必要で、まだはっきりとはしていないよ

うですが、これもお決まりのように、いつものようにどれくらい排出されたかは隠蔽されたままのようです。今はネット上のニュース(Tansa・2021年)だけの報道のようですが、報道の広がりを見せて、ダイキンの責任を問うことになっていけばいいのになあ、と思います。21世紀になってもいまだに「作る責任」というものが定着していないのだ、と思わせる事件です。過去には足尾鉍毒事件・水俣病事件・カドミウムやPCB汚染、そのほかにも多くあったのに、素人には分からずはどうしようもないことは、やはり「作る側」の責任において被害を出さないことを徹底してもらいたいものです。



2006年以降、巣から蜜蜂がいなくなってしまう蜂群崩壊という現象が世界的に起き、様々な仮説が立てられました。寄生虫・病原菌・ウイルス…、どれも決定的な証拠は見つかりませんでした。「ネオニコチノイド系の農薬」を原因とする論文が現れ、予防原則的に何種類かの農薬をヨーロッパでは使用禁止にしました。日本では残留値が多くてもいい法律になっています。ヨーロッパのその後、日本(基準値が高くて実際そこまで作物に含まれるかさえ分かりませんが)との比較、アメリカのその後、続報がありません。



除草剤グリホサート(商品名ラウンドアップなど)が悪性リンパ腫を引き起こしたとするアメリカの裁判で、バイエル社(旧モンサント社を買収)が敗訴しま

した。しかし今でも日本では売られています。除草剤や農薬の輸入は、他国に比べ日本と韓国が圧倒的に多いのです。強い国には逆らえないお国柄ということでしょうか。日本産を安全だからという理由で買う人も多いかと思いますが、これからは外国産、ほかの国の言うことを聞かなくてもいい国のほうが残留農薬は少なくなるかもしれません。

実名を明かすと危険なためか、農薬の空中散布で、幼稚園児の描く絵に退行が見られた、というネット情報もあります。信憑性の確認が取れないものの、発達障害への危惧があるなら、農薬の種類・量・散布の方法を変えていく必要があると思います。



温暖化の原因が二酸化炭素である、という言説が主流になってしまいました。それは違うだろう、ということを 2007 年の第一回エコフェアから訴えてきたのですが、何か大きな力があるのでしょうか、科学的根拠の希薄な説が世の中に広がっているようです。

今は、二酸化炭素がどのように地球を温暖化するのかという解説は全くありません。二酸化炭素が原因というのはおかしいという科学者の説に対し、納得できる反論のないままに数で押し切った感があります。

●気温上昇の後に二酸化炭素が増えていること（二酸化炭素が原因ではなく気温上昇の方が原因で、二酸化炭素を湧き出させている）。これに対する明確な反証が見られない。 ●二酸化炭素が増えると金星のような高温（400℃）の惑星になるというが、火星大気も二酸化炭素が95%を超えるのに寒冷な惑星であることをどう説明するのか。 ●気象というのは複雑系に属するもので、二酸化炭素だけにその原因を求めるのは間違いではないか。（太

陽活動の変化・スベンスマルク効果の検証・地磁気の強弱と地球に影響する太陽風の関係などなど）

地球が金星化しないだろうというのは、一つには太陽からの距離です。二つには気圧の差です。火星は地球の半分の直径で引力が小さく（地球の38%）大気を大量につなぎとめておけません（百分の一気圧）。対して金星は地球と同じくらいの引力で気体を貯めましたが、高温のため液体の水ができず、大気が上下する「対流」がないようです。水に二酸化炭素が溶けることもなく、生命活動（光合成・炭酸カルシウムの殻を作る生物の活動）で二酸化炭素が大気中から減ることもありませんでした。地球は二酸化炭素が減って1気圧の惑星となったのですが、金星は90気圧の惑星となったのです。気体は圧縮すると温度が高くなります。ディーゼルエンジンは空気を20分の1まで圧縮し軽油を霧状にして吹き付けることで点火しています。点火プラグはありません。90気圧で対流のない大気であれば気温は400℃を超えるでしょう。それを二酸化炭素の温室効果によるものだと説明するのは、あまりにも無理があると思います。

SDGsの中でも取り組むべき項目はたくさんあり、日本で特に遅れている項目について着目すべきです。しかし報道や企業コマーシャルで流されるものは圧倒的に二酸化炭素削減です。ほかの項目はまるでないかのように、解決済みのように、無視され続けています。農薬などの有害物質・原発の破滅性から目をそらさず、環境について考えていきたいものです。

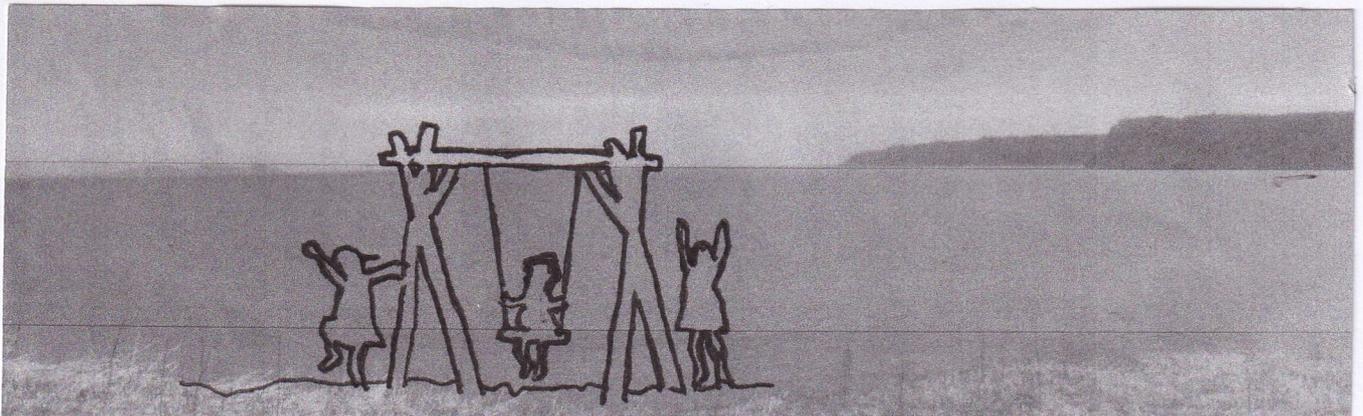


今後の活動予定は、自然体験活動を目指しながら山に苗木を植えます。

植栽場所は、山林 86,296㎡です。土地所有者と交渉中で、ほぼ了解が得られました。

絶景を観ながら、ブランコをこぐ……自然を体感することです。

土地所有者は、了解済みです、賛同者を募り取り進める予定です。



今回の開催が出来たこと、大変ありがたく思いました。今後も、皆様のご協力と応援をお願いいたします。参加団体の皆さん、パネルの内容を拝見して、大変勉強になりました。

美しい毒草の花

釧路野外教育研究会

釧路野外教育研究会は、例年6月に、主に釧路地域の豊富な山菜と、その山菜と紛らわしい毒草の現物展示を行ってきました。釧路地域の豊かな自然の恵みを知ってもらうと共に、自然には様々な危険があり、それらに注意を払いながら自然と接して行くことの楽しさ、素晴らしさを伝えるための展示です。



ところで、今年は3年ぶりの開催となり、コロナの影響で開催時期も10月となり、これまでの春の山菜採りの季節とは大きくかけ離れてしまいました。しかし、春には見ることができない毒草トリカブトとイヌサフランの開花時期と重なりました。そこで、今年は、例年展示していた、山菜と紛らわしい毒草のパネル展示に、鉢植えのイヌサフランの花と採取してきたトリカブトの花にギョウジャニンニクの冬芽の現物を加えて展示しました。

イヌサフランの花は釧路市内でこの時期によく見かけ、気候的にも適しているのか、大きな株でたくさんの花を咲かせています。紫色の美しい花で、春のサフランの花に似ていて、サフランではないことからイヌサフランと名付けられ、別名をコルチカムと言います。球根植物で、葉は春に出て枯れ、秋には花だけ抽出し、机の上に置いても花が咲きます。毒素はアルカロイドで細胞分裂を妨げ、種なしスイカの作成に関与しました。園芸作物で釧路の山には生えていませんが庭や畑に植えて、春の芽出しの時、同じ場所に植えたギョウジャニンニクと間違えて刈取して誤食した結果、死亡事故が相次ぎました。



トリカブトの花もきれいで、自然の残る釧路市内や近郊で、晩夏から秋にかけてよく見かける紫色の花です。豪華な花のデルホニウムと同じキンポウゲ科の仲間です。春の若葉が、ニリンソウ(別名フクベラ、キンポウゲ科)とよく似ており、しばしば誤食事件がおこり、死亡事故につながります。ト

リカブトはアイヌの人々が毒矢の材料としたことで良く知られています。

釧路野外教育研究会は毎年エコ・フェアを通して、釧路地域の素晴らしい自然環境を紹介し、多くの方々に自然に触れ合う機会を持つよう企画しました。しかし、今回は、毒草の花はともかくとしても、パネル展示は春の山菜を扱ったもので、何とも時期はずれでピンボケの感がありました。来年もこの時期に開催するとすれば、秋に合わせた展示内容を検討しなければなりません。

田丸 典彦



今回は、コロナ禍の中で3年ぶりに行うことができた、久しぶりのエコ・フェアでした。エコ・フェアに参加する団体の皆様に、久しぶりにお会いすることができて、お話しすることができて良かったなど、まず一番に思いました。場所も、図書館をお借りして、パネル展示という新たな試みでしたが、想像していた以上に多くの方々に、じっくり見ていただくことができたのではないかと、嬉しく思っています。コロナ禍の中で、探り探りの開催となりましたが、来年度も、やり方を模索しながら、また開催できたらと思っています。

柴田 浩子

【釧路野外教育研究会について】

釧路野外教育研究会は、平成12年（2010）に野外教育の調査・研究及び会員相互の情報交換を推進し、野外教育の発展に寄与することを目的に発足しました。活動内容はキャンプ、カヌー、フィッシング、山菜採り等の自然で行われる様々な実践が含まれます。すなわち、いわゆる野遊び全般です。

ちなみに、野外教育にかかわる平成8年の文科省報告書「青少年の野外教育の充実について」の中の解説文で「野外教育とは、自然の中で組織的、計画的に、一定の教育目標を持って行われる自然体験活動の総称」として、自然体験活動という用語も用いられた。「自然体験活動とは、自然の中で、自然を活用して行われる各種活動であり、具体的には、キャンプ、ハイキング、スキー、カヌーといった野外活動、動植物や星の観察といった自然・環境学習活動、自然物を使った工作や自然の中での音楽会といった文化・芸術活動などを含んだ総合的な活動である。したがって、野外教育は、自然体験活動を取り扱う教育領域であると位置付けることもできる。」とも定義づけた。

マリモを守る ―保護と研究の取組―

釧路市教育委員会マリモ研究室

SDGs 番号 : 15

ビロード状の美しい球体に育つことで知られる「阿寒湖のマリモ」は、釧路市の自然の豊かさを表す象徴と言えるでしょう。その希少性や学術的な価値の高さから、1921年に国の天然記念物、1952年に特別天然記念物に指定されました。本年3月に、特別天然記念物指定から70年目を迎えたことから、釧路市教育委員会では、これまでの保護の取り組みや研究の成果などを紹介する巡回パネル展を企画し、その一環として、くしろエコ・フェア 2022 にマリモの生活史や生態3枚、マリモおよび生育地の状況2枚、マリモの保護活動3枚、マリモの最新研究2枚の合計10枚のパネルを出展しました。

マリモの生活史や生態のパネルでは、マリモの本体が長さ3センチ程度の枝分かれした1本の糸のような形をしており（糸状体と呼ばれます）、皆さんがイメージする球状のマリモは糸状体が集まって塊をつくったものであることや、岩石や貝殻にコケのようにくっついて生活しているマリモがいることなどを紹介しました。また、球状のマリモは台風通過時のような強風が発生した際に湖岸に打ち上がる場合があることや、打ち上がったマリモはバラバラになるものの、再び湖に戻って大きく育つことなどを紹介しました。

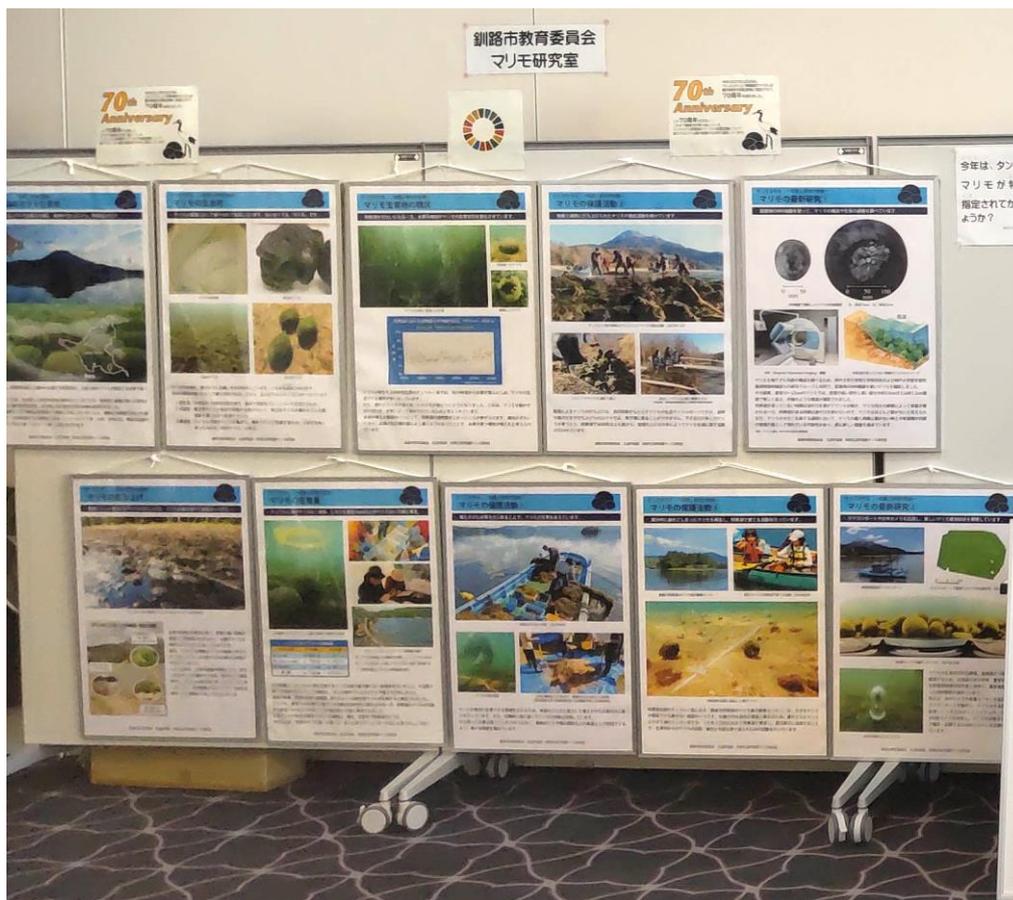
マリモおよび生育地の状況のパネルでは、2019年の調査によって阿寒湖北部のチュウルイ湾に約1億個のマリモが群生し、そのうち直径15センチ以上の大きなマリモは全体の0.1%程度（約11万個）という推定結果が得られたことを紹介しました。また、チュウルイ湾では2010年頃から水草（沈水植物）が深所に分布を拡大し、マリモの分布面積を縮小させるなどの問題が発生している実態を紹介しました。

マリモの保護活動のパネルでは、強風によって打ち上がったマリモを湖に戻す取り組みや、増えすぎた水草を刈り取ることでマリモの生育環境の改善に努めていること、展示中に破損したマリモを再生して調査研究に活用していることなどを紹介しました。これらの取り組みは阿寒湖の人たちが中心となって継続されています。世界中でマリモが消失する中、今日、マリモが阿寒湖に残っているのは、古くからマリモを守り続けてきた阿寒湖の人たちの愛護心の賜物と言っても過言ではないでしょう。

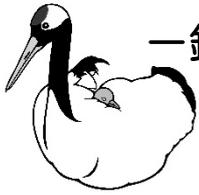
マリモの最新研究のパネルでは、神戸大学などとの共同研究により、医療用のMRIを使ってマリモの内部を調べたことや、これによって阿寒湖のマリモに年輪のような縞状の構造を発見したこと、縞の間隔から阿寒湖のマリモの成長率が一年で約1センチ程度

と推定されたことを紹介しました。また、北海道大学との共同研究により、潜水調査に代わる新たなマリモ調査方法として、水中カメラを搭載した自律型のラジコンボートの開発に着手していることや、水中のマリモの動きなどを長期間調べるための水中 360 度カメラを開発し、試験的に導入していることなどを紹介しました。調査の省力化・効率化だけでなく、マリモ群落全体を面的に調査することが可能になると期待しています。

来場者の皆様に最も興味を持っていただいたパネルはマリモの最新研究でした。特に、マリモ内部の MRI 画像はインパクトがあったようで、大きなマリモの中が空洞であることなど、マリモの不思議を感じて頂けたようです。観測機器の発展により、過去には調べられなかったマリモの実態に迫ることが可能になっています。釧路市教育委員会では、様々なテーマで大学等との共同研究を進めていますので、今後もこのような機会を通して紹介できればと思います。また、マリモの保護活動のパネルを見て、自分も保護活動に参加したいといった有難いお言葉を頂きました。多くの皆様にマリモを身近な生き物と思って頂けるよう、引き続きマリモの保護・研究活動の推進と普及に努めて参ります。



「タンチョウ・レスキューの現場から



ー釧路市動物園のタンチョウ保護への取組みー」

釧路市動物園ツル担当

15 陸の豊かさも
守ろう



＜パネル展示の様子＞

釧路市動物園ツル担当は、2022年度のタンチョウと阿寒湖のマリモの特別天然記念物指定70周年記念事業（主催：釧路市教育委員会）の一環として、「タンチョウ レスキュー展」のパネル展示を行いました。パネルを見に来て下さった来場者の方には、釧路市動物園特製の「タンチョウ横断注意道路標識ミニマグネット」を配布し、タンチョウの交通事故防止への協力を呼びかけました。

「タンチョウ レスキュー展」では、野生のタンチョウたちがよく遭う事故や、釧路市動物園が取り組んでいる保護されたタンチョウの治療やリハビリの様子、普及啓発の様子などを、現場で撮影された写真をふんだんに使って紹介しています。

保護活動の成果で生息数が回復しているタンチョウですが、その結果、タンチョウたちは人間の近くで生活を始めています。その生息環境には、道路や電線、ネットやフェンスなど、タンチョウにとって脅威となるものがたくさんあり、事故で死んだりケガをしたりするタンチョウも増えています。一方で、農業被害など、人とのあつれきも見え隠れするようになってきています。

パネル展を通じて、改めて「タンチョウの今」を感じて頂ければと思っています。生息数が増えたからと言って、保護活動は終わりではありません。この先、人間とタンチョウがよりよく共生していくために、ぜひ、一緒に考えてもらえたら嬉しいです。

「この先、タンチョウと仲良く暮らすために

なにができるかな？」

「1羽でも事故にあうタンチョウが

減りますように！」

!!
タンチョウツイッターもやっています。
ぜひフォローしてね。



<https://twitter.com/CraneKushiroZoo>

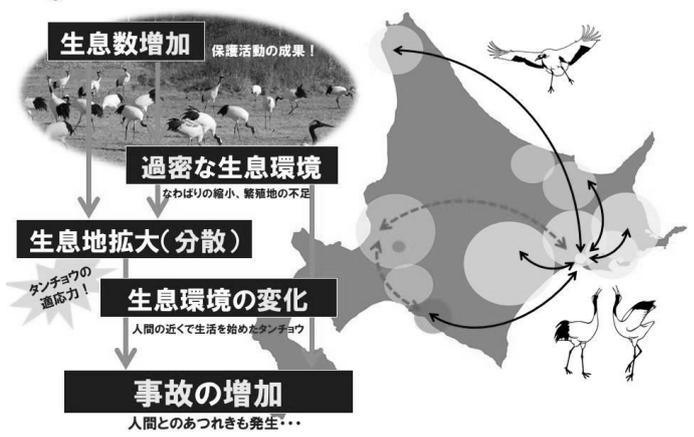
**まいにちタンチョウ・レスキュー
@釧路市動物園【公式】**

普段は絶対に見られない、タンチョウの治療の様子や
義足で暮らすタンチョウ「モモ」たちの様子など、
タンチョウまみれのマニアックな毎日を
動画や写真で紹介しています。

? 釧路市動物園でのタンチョウの保護活動

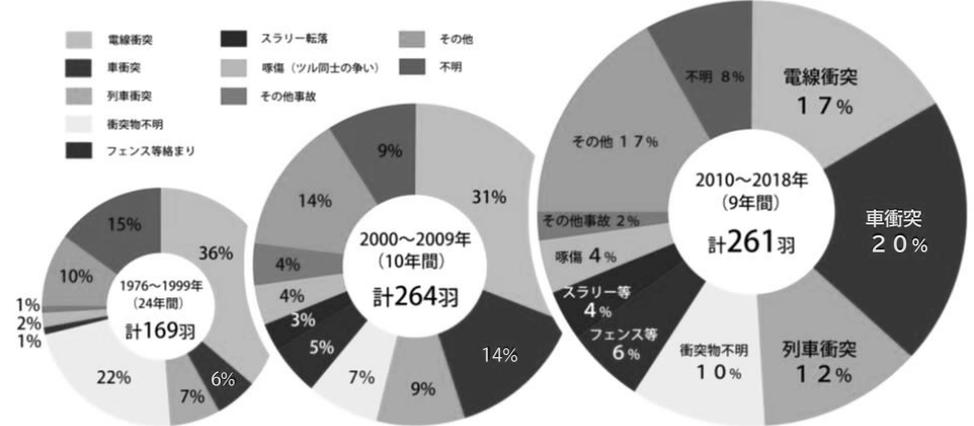


! 絶滅の危機からは回復したけれど...



? 保護収容理由の内訳は?

【タンチョウの保護収容原因の内訳と推移】



<配布したカードとマグネット> 釧路市動物園のタンチョウ関連のイベントに参加してゲットしてね!



タンチョウの交通事故がとても増えています。

道路にいるカラスのイメージで運転しているとぶつかってしまうんだ!!

道路にいるタンチョウは、車が近づいても、飛んで逃げません!
道路にいるタンチョウを見つけたら、車のスピードを落としてね!!

みんながこれを知っていれば、タンチョウの交通事故は防げるかも!



普及啓発のため、園内にも「タンチョウ横断注意」道路標識を設置しました。

くしろエコ・フェア2022に参加して～そしてこれからの展望

海ねこみなと会

私たち海ねこみなと会は、将来に向けて持続可能な社会を目指すため、市民の視点から知恵を出し合い行動に繋げることを目指す会として、今年の2月に3名の仲間と立ち上げました。また、加えて顧問には、くしろエコ・フェア実行委員会の田丸典彦氏に就任していただいております。

下記通り、この度の「くしろエコ・フェア」参加について、海ねこみなと会の報告をいたします。

1. 展示方法

- (1) パネル展示
- (2) 対面にて説明

2. 内容

- (1) 海ねこみなと会の組織と活動について
- (2) 環境問題に関する意識調査



- ① 紙ベースとウェブフォームによるアンケートの実施
- ② 210件の回答が寄せられた。
- ③ 集計し、ポスター作成掲示。意見が多数であったためポスターに掲載できなかった回答も含めて、当会ブログで閲覧できるようにした。

URL <https://uminekominato.livedoor.blog>

- ④ アンケート概略：殆どの方が、環境問題に関心があり、リサイクルやエコバッグ、フードロスの削減、プラスチックごみにならない素材のスポンジ使用、農薬を使わない野菜作りなど、大なり小なりそれぞれが出来る対策をしている。また、今回は少数意見ではあったが、関心がない方としては、「小さな力じゃなんにもならないから」や「周りにあまり話題がない」などの意見もあり、意識を変えるための啓もう普及の工夫が必要と感じた。また、今、広く周知されつつあるSDGsに関して、一時のトレンドで終わらせないようにしたいと考える。

3. 海ねこみなと会からの感想

新型コロナウイルス感染症の拡大後、初めてのくしろエコ・フェアということで、感染症にも最大限配慮したパネル展示がメインのエコ・フェアでしたが、一般の方、参加者の知人、行政や企業の方など様々な方にご来場いただきました。出展者間の交流を通して情報や意見交換もできました。特に、環境保全課の方に「廃プラは助燃剤となっていて、燃えるゴミの水切りをよくすること助燃剤の量が減らせる」ということ等教えて

貰うなど横のつながり、そして何よりも会の活動を地域の幅広い年齢の方々に伝えられる機会になり、海ねこみなど会としても大変有意義なイベントとなりました。これからの活動に生かしていくとともに、次回もぜひ参加させていただきたいと思っています。

海ねこみなど会からのつぶやき

最近異常気象、自然災害が増えていて「この先どうなるの?」と思ったりしませんか?

明治時代頃（今から約 150 年位前）から人間は石炭、石油を大量に使い続けたことで今の環境汚染に繋がっていると分かりました（IPCC 報告）

夏の間、釧路に長期移住される方が沢山いらっしゃいます。本州の暑さは、想像を絶するものがあるそうです。今でも 10 年に一度レベルだった熱波は、明治時代に比べたら 2.8 倍になっており、更に気温が 1.5 度上昇すると 4.1 倍になるそうです。

気候変動という課題に加え海洋汚染という環境問題も私達は抱えています。その一つにマイクロプラスチックによる海洋汚染があります。海に増え続け、健全な生態系に影響を及ぼすマイクロプラスチックが、スポンジ、アクリルたわし、メラミンスポンジからも発生していることが、残念ながら余り知られていません。

市民としてできる小さな一歩として、製造、処理過程で CO2 の排出が少ないコットンたわしの紹介や環境問題対策の情報も発信しています。

以下会の HP やブログ、SNS のアカウントの QR コードです。
もしよろしければ見て頂ければ幸いです。





くしろエコ・フェア クイズラリー



くしろエコ・フェア 2022 では、2019 に続いて参加型の企画「クイズラリー」を実施しました。

各展示団体さんの掲示物・展示内容からクイズを出していただき、参加していただくと粗品をプレゼントという形で行いました。

クイズラリー問題一覧（答えは一番最後にあります！）

◆釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

Q 1. 「シマエナガ」は卵をいくつ産むでしょう？

- ① 1～2個 ② 7～13個 ③ 15～20個



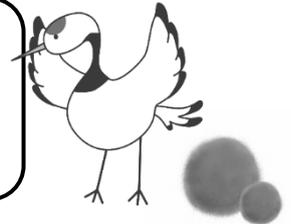
◆北海道釧路総合振興局

Q 2. ゼロカーボンについて、説明しているものは次のうちどれでしょうか。

- ① CO₂ などの温室効果ガスの排出量と森林などによる呼吸量を同じにすること。
② CO₂ などの温室効果ガスの排出量をゼロにすること。
③ 森林などによる温室効果ガスの呼吸量をゼロにすること。

◆釧路市教育委員会マリモ研究室・釧路市動物園ツル担当

Q 3. 今年はタンチョウと阿寒湖のマリモが天然記念物に指定されてから何年目の年でしょうか。



◆冒険の杜プロジェクト

Q 4. 北海道の森林面積は 554 万 ha で、全道面積の 71%、全国の森林面積の 22% を占めています。森林面積のうち天然林は 67%、人工林は、針葉樹(トドマツ・カラマツ)と広葉樹(ミズナラ・カンバ類・シナノキ・カエデ類)どちらが多いでしょうか。

◆釧路の魅力を創る会

Q 5. 春採太郎(砂岩脈(サンド・ストーン・ダイク))は釧路市の文化財に指定されていますが、下記 3 つのうち、どれに指定されているでしょうか。

- ① 市指定天然記念物 ② 市指定史跡 ③ 市指定特別天然記念物

第5回エコポスターコンクール

今年のテーマは「SDGs」～自分にできること～

募集要項

ポスター・・・四つ切画用紙使用 一人1点まで
画材、画用紙の縦・横使用は自由

応募方法

ポスター・・・「エコポスター応募用紙」を作品の裏に添付
学校または直接「釧路市民活動センターわっと」へ提出

応募期間 6月23日～9月3日

応募資格 小学生 中学生 高校生 一般

審査 9月7日 田丸実行委員長および
事務局員により厳正に審査

発表 9月17日 釧路市民活動センターわっとのホームページ に掲載



受賞作品

エコポスター

応募総数: 13作品

【金賞】



【節電で止める温暖化】
鳥取西中学校3年 土井 結愛



【銀賞】



【最後まで残さない晩餐】
愛国小学校5年 村井 咲月

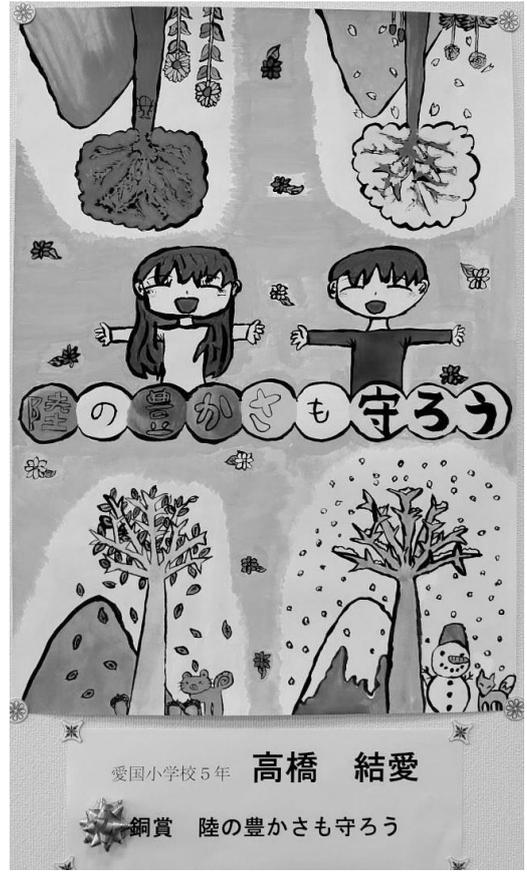


【海の生き物が困ってる】
大楽毛小学校5年 南川 悠真

【銅賞】



【守るべき自然】
真龍中学校3年 根布谷 祐歩



【陸の豊かさも守ろう】
愛国小学校5年 高橋 結愛



【木を大切に】
共栄小学校4年 上村 遥音



【奨励賞】



愛国小学校4年 須藤 萌衣
奨励賞 STOP ゴミ箱じゃない!!

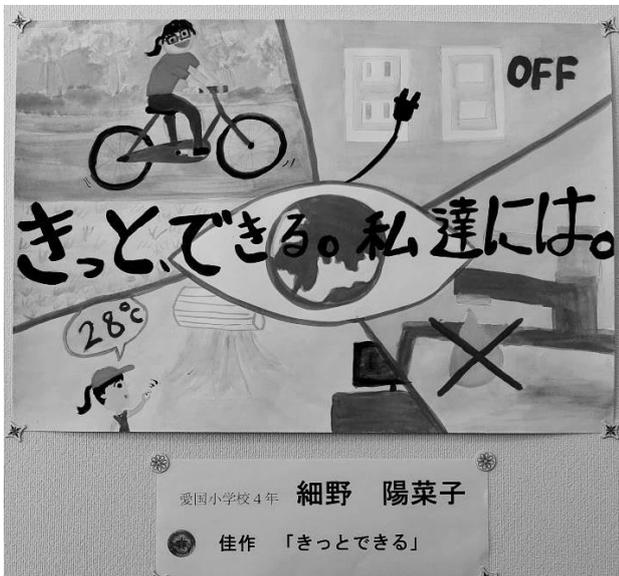
【 STOP ゴミ箱じゃない! 】
愛国小学校4年 須藤 萌衣



鶴野小学校1年 島崎 斗碧
奨励賞 魚がゴミをいっぱい食べて絶滅する可能性があるから、絶対にゴミを捨てないで!

【魚がゴミをいっぱい食べて絶滅する可能性があるから、絶対にゴミを捨てないで!】
鶴野小学校1年 島崎 斗碧

【佳作】



愛国小学校4年 細野 陽菜子
佳作 「きっとできる」

【きっとできる】
愛国小学校4年 細野 陽菜子

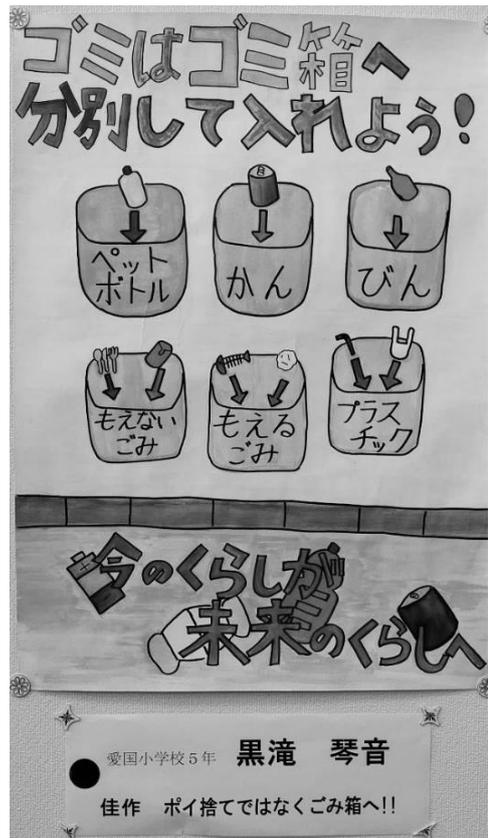


鳥取中学校3年 細川 優衣
佳作 つくる責任 つかう責任

【つくる責任 つかう責任】
鳥取中学校3年 細川 優衣



【節電で未来を開こう】
 愛国小学校5年 岡村 愛菜



【ポイ捨てではなくごみ箱へ!】
 愛国小学校5年 黒滝 琴音



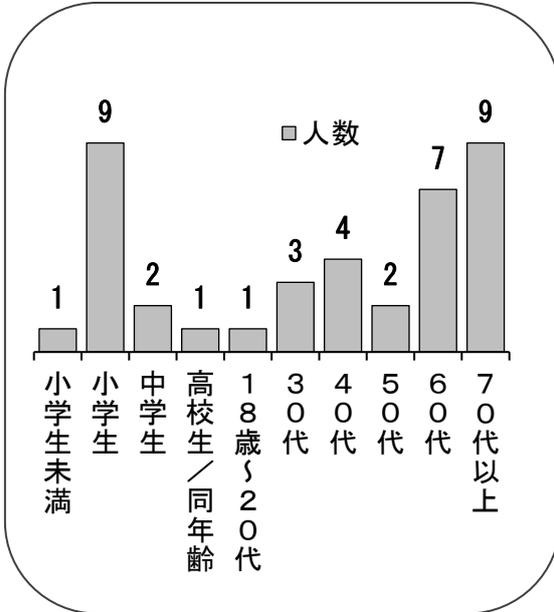
【海をきれいに!】
 愛国小学校6年 手塚 沙凧



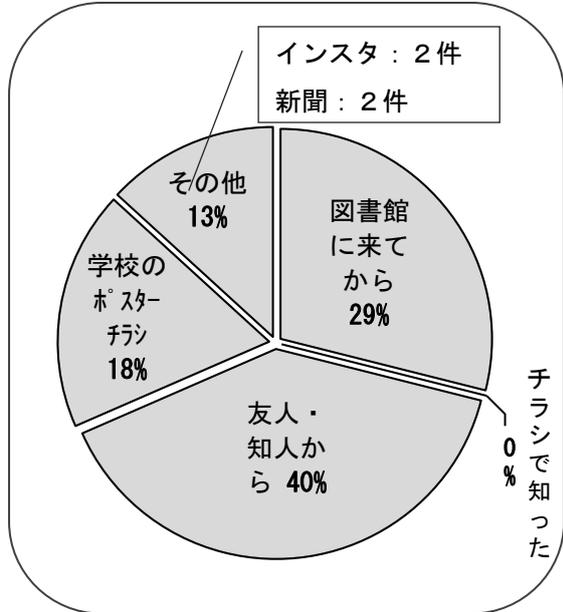
くしろエコ・フェア2022 来場者アンケート集計

(アンケート件数：39件)

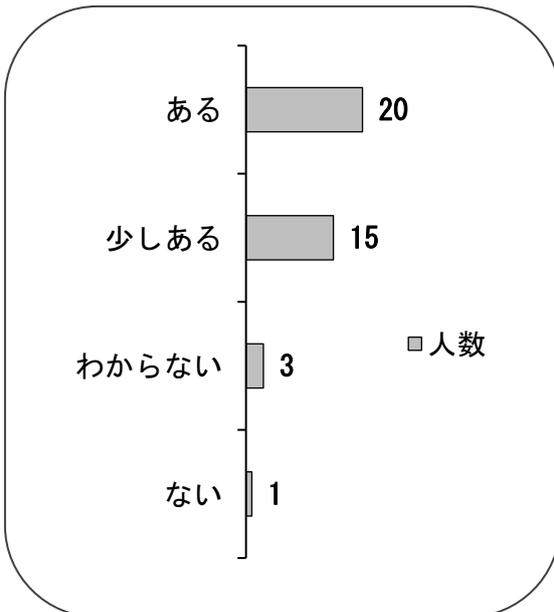
◆学校・年代



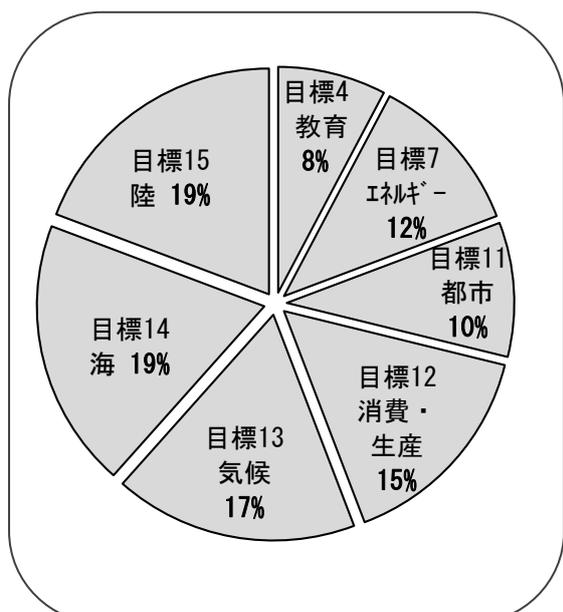
◆エコフェアを何で知りましたか



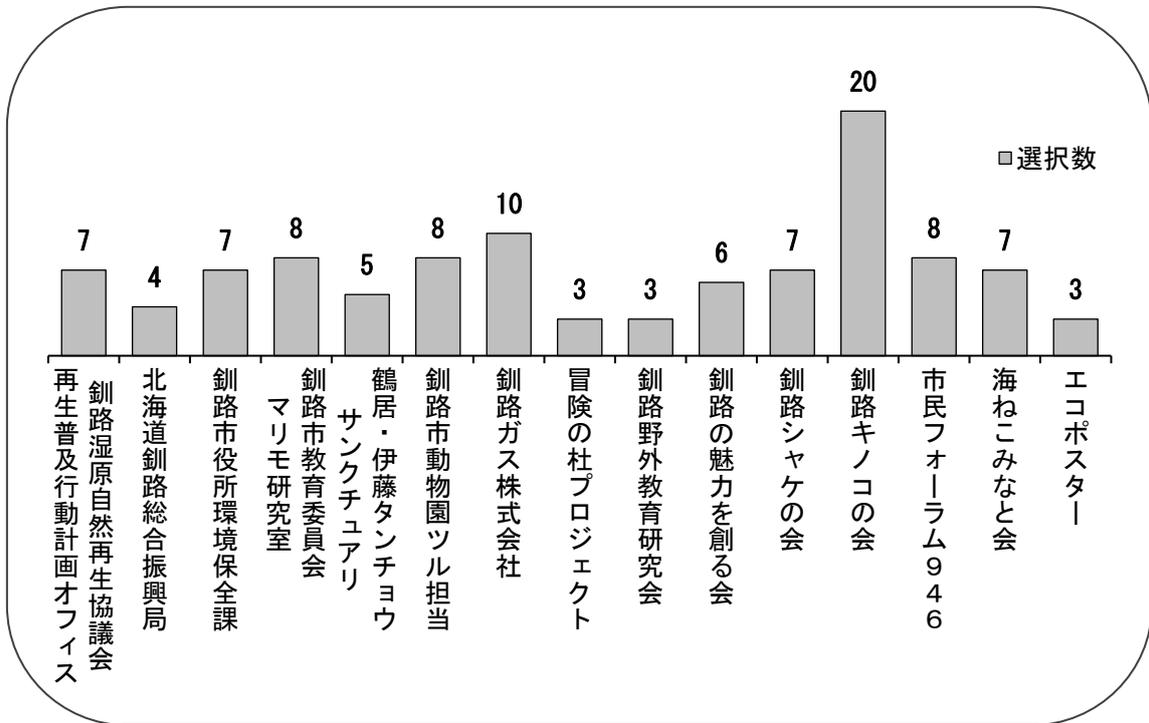
◆普段は環境問題・エコロジーに関心ありますか



◆SDGsの目標番号4, 7, 11, 12, 13, 14, 15の中で最も関心のあるものは (複数回答可)



◆印象に残った展示はどれですか（複数回答可）



◆ご意見・ご感想◆

【小学生】

- 総合で今習っているので参考になると思った。
- キノコがきん類だと知ってびっくりした。
- シャケが3000個も卵を生むのを知ることができた。

【40代】

- とても勉強になりました。

【70代以上】

- エコ問題は一人ひとりが関心を持ち、実行しなければ絵に描いた餅になってしまう。
- 多くの人が自分のこととして、行動することが大切と思いました。
- 今日はありがとうございました。
- りっぱな展示物でした、御苦労されたものと感心しております。

1 【総合版】 2022年(令和4年)9月20日(火曜日)

SDGsから環境考えて

来月1日、くしろエコフェア

くらしと環境について考

えるきつかけづくりを行う

「くしろエコ・フェア20

22」SDGsの視点から

」が10月1日午前10時

ら、釧路市中央図書館7階

多目的ホールと展示室で3

年ぶりに開かれる。14団体

がブースを設け、環境分野

に関するSDGs(持続的

な開発目標)などをテーマ

とした活動を紹介するパネ

ル展示やエコクイズラリー

などを実施し、環境を楽し

みながら学べる。

同実行委主催で、釧路市

教育委員会共催。地域に住

む一人ひとりが「暮らしと

環境」について考え、体験

することを目的としたイベ

ントとして2007年から

始まり、20、21年は新型コ

ロナウイルスの感染拡大の

影響で中止。今回は初とな

る、経済産業省などが定め

た3R(リデュース・リユ

ース・リサイクル)推進月

間に合わせた10月開催で、

主に展示などを行う。

当口は、釧路総合振興局

や釧路市役所環境保全課に

よるゼロカーボンや環境保

全などに関する展示を行う

ほか、釧路シヤケの会は「市

民の手で育てたサケの稚魚

が成長して釧路湿原に帰っ

てほしい」との思いをパネ

ルで紹介する。各ブースを

回って環境などに関するク

イズに挑戦するエコクイズ

ラリーでは参加者全員に景

品を進呈。

3年ぶりの開催となる「くしろエコ・フェア」の来場を呼び掛けるスタッフ



このほか、同実行委が実施した「エコポスターコンクール作品展」では同コンクール入賞作品を展示する。実行委の田丸典彦委員長は「私たちの身近な生活から環境について学べるので、ぜひ来場いただき、環境への関心を高めるきつかけ」としてもらえたら」と呼び掛けている。

イベントは午後4時まで。入場無料。問い合わせは事務局(釧路市民活動センター)わつと内)0154(22)22322へ。

(嶋守善一)

環境へ理解深めるフェア 市中央図書館で1日

環境について理解を深める「くしろエコ・フェア2022」（実行委主催）が10月1日午前10時～午後4時、釧路市中央図書館7階で3年ぶりに開かれる。

自然保護や環境問題に取り組む団体や個人の活動を発表する場として2007年から毎年開催していたが、昨年と昨年はコロナ禍により中止していた。

今回は感染拡大防止のため、例年行っていたワークショップを中止し、パネル展示のみを行う。釧路管内の市民団体や企業のほか、マリモやタンチョウの保護に関連する組織の計14団体が、環境問題や国連の掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」に関連したパネルを展示する。

その他、事前に小学生から募ったエコポスターの展示や、文房具をプレゼントするクイズラリーも行う。田丸典彦実行委員長（78）は「各団体の活動発表で環境について知り、個人でもできる取り組みを見つけてほしい」と呼びかける。

入場無料。問い合わせは市民活動センターわっと、電話0154・222・2232へ。（二色朋恵）



ポスターを手に来場を呼びかける実行委のメンバー

環境活動パネルで紹介

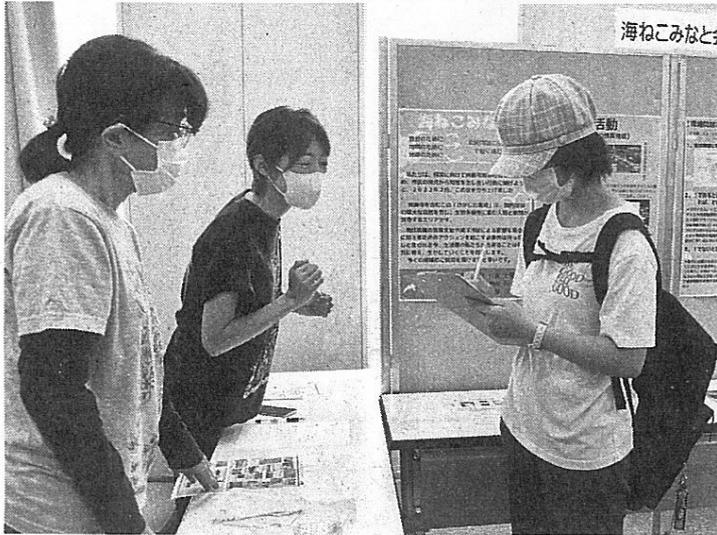
釧路 中央図書館でエコ・フェア

くらしと環境について考えるきっかけづくりを。「くらしエコ・フェア2022」SDGsの視点から」が1日、釧路市中央図書館で開かれた。会場には協賛した14団体が環境に関わる活動内容を展示し、訪れた市民が身近な団体による環境活動に触れた。

(石川直樹)

同イベントは6月の環境月間に合わせて2007年から継続開催してきた。ただ、2020年と21年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。今回は、環境に関わる目標を掲げている国連総会のSDGsに賛同し、総会直後の10月開催とした。

会場に設置された各ブースは、「釧路湿原再生事業地現地見学会」のポスター展、市役所や釧路総合振興局のゼロカーボンの取り組み、日本野鳥の会のタンチョウ保護活動の紹介などパネル展示が中心。今年2月に設立した「海ねこみなど会」は来場者に環境問題についてアンケートを行った。また、次世代を担う子供たちに、環境について関心を深めてもらうようエ



エコポスターを募集した。大学で環境について学んだという道教育大学釧路校の鉄川みなさん(19)は「研海ねこみなど会」

環境に関心を持つ市民が訪れた「くらしエコ・フェア2022」

研究室でもSDGsについて学ぶ機会があるので環境問題には関心がある」と各コーナーを熱心に巡っていた。道教育大学名誉教授で同フェア実行委員長の田丸典彦氏は「コロナ感染予防のため入場制限を行っての開催だった。若い人が環境を考えるきっかけとして、今後も内容を工夫しながら開催していきたい」と話していた。

エコポスターコンクルの上位入賞者は次の通り。

(敬称略)

- ▽金賞 土井結愛(鳥取西中3年)
- ▽銀賞 南川悠真(大塚毛小5年)、村井咲月(愛国小5年)
- ▽銅賞 高橋結愛(愛国小5年)、上村遙音(共栄小4年)、根布谷栞歩(厚岸真龍中3年)

くしろエコ・フェア2022 ご協賛企業・団体一覧

ありがとうございました

文部科学大臣指定・厚生労働大臣指定
公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会公認
障がい者スポーツ指導者(初級)資格取得認定校

学校法人 ほっかいどう学院
 くしろせんもん学校
Kushiro special school

こども環境科・介護環境科

〒084-0910 釧路市昭和中央2丁目7番3号
TEL: 0154-51-3195 FAX: 0154-53-3746



地域に密着した総合教育

 学校法人 緑ヶ岡学園

- 釧路短期大学
認定こども園
- 釧路短期大学附属幼稚園
- 武修館高等学校
- 武修館中学校

釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号 TEL 0154(41)0131(代)
<http://www.midorigaoka.ac.jp>



日本最東端から、“光”を発信。

北海道教育大学釧路校

〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号
<https://www.hokkyodai.ac.jp/kus>

豊かなみらいを、地域とともに。

 大地みらい信用金庫

理事長 遠藤修一

www.daichimirai.co.jp



みぢかなふれあい

 釧路信用金庫

理事長 森村好幸

釧路市北大通8丁目2番地 TEL(0154)23-0111

URL <https://www.shinkin.co.jp/kushiro/>

いつまでも 地域とともに

 しんくみ

釧路信用組合

理事長 忠村浩志

釧路市北大通9丁目2番地 TEL(代)22-3161
<http://www.kushiro.shinkumi.jp>

K 環境コンサルタント株式会社

代表取締役社長

濱口憲太

【SDGs宣言】

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目的(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。



〒085-0016 釧路市錦町5丁目3番地
TEL:0154-31-0311 FAX:0154-40-3754
<http://www.kankyocn.co.jp>

本社事業部 / 〒088-0606 釧路郡釧路町中央6丁目15番地2



TAKUHOKU 土質・地質総合コンサルタント

拓北地下開発株式会社

代表取締役 田中 卓

〒084-0913 釧路市星が浦南1丁目3番7号

TEL(0154)51-4711(代) FAX(0154)55-2200

楽しいを見つけるなら



Coach & Four

全国最大級の
複合店

コーチャンフォー釧路店

釧路市春採7丁目1番24号 tel.0154-46-7777

<http://www.coachandfour.ne.jp>

【コーチャンフォーグループ】運動公園通り店 釧路町桂木3丁目 | ルート38号店 釧路市鳥取大通り9丁目



リサイクル
循環型社会を応援します!!



株式会社 釧路厚生社

代表取締役会長 中山 勝範
代表取締役社長 福田 雅嘉



〒088-0605

釧路郡釧路町別保原野南21線46番地20

TEL 0154-40-2983

FAX 0154-40-2289

URL <http://www.k-kouseisy.co.jp>



ネイチャーテック釧路株式会社

代表取締役 東 陽 一
youichi azuma

〒084-0913
釧路市星が浦南6丁目6番13号
TEL 0154-57-7766・FAX 0154-57-7768
携帯 090-8273-4141

Email: natec@biscuit.ocn.ne.jp

(再生紙使用)



詳しくは

JAF Safety Light

検索



一般社団法人

日本自動車連盟 釧路支部

〒084-0906 釧路市鳥取大通8丁目2番11号
TEL.0154-51-2167

コープさっぽろ 釧路地区本部

Ju 釧路 信頼と安心の加盟店へ

釧路地方中古自動車販売協会 釧路地方中古自動車販売事業協同組合

会長・理事長 高橋 成人

釧路市新野7線147番地4 ☎(代)57-9111



株式会社 釧路製作所



代表取締役社長 羽 劔 洋
Ushuu Hiroshi



〒085-0003 釧路市川北町9番19号
TEL (0154) 22-7135 FAX (0154) 22-9680
E-mail: h-usyuu@kushiro-ses.co.jp
URL http://www.kushiro-ses.co.jp

① 岩倉建設株式会社

代表取締役社長 鈴木 泰至

本社 札幌市中央区南1条西7丁目16番2
Tel (011) 281-6000

釧路営業所 釧路市鳥取南7丁目1番10号
Tel (0154) 51-3673



葵建設株式会社

誠意と技術で豊かな郷土をきずく

代表取締役社長 大 水 賢 一

〒085-0815 北海道釧路市材木町15番17号
TEL: 0154-41-4111 FAX: 0154-42-1436
URL: http://www.aoi-kensetu.co.jp



沢田建設株式会社

☎085-0058 釧路市愛国東1丁目1番16号
電話 (0154) 36-1965番(代表)
FAX (0154) 36-1366番

執行役員
支店長

吉田成年

株式会社 田中組 道東支店

支店
085-0008

釧路市入江町五番十六号
電話 (0154) 22-7177
FAX (0154) 22-7179

E-mail: n-yoshida@tanakagumi.co.jp

釧路ガスのでんきはじめました!

安心・安全・エコライフ



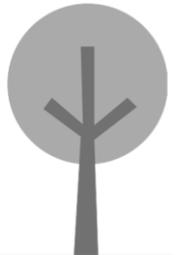
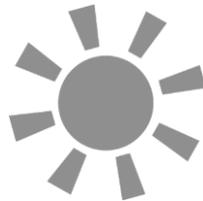
釧路ガス

ECOジョブ

ガススマート!

Tel 0154-22-8101

住所 / 釧路市寿4丁目1-2
検索



くしろエコ・フェア 2022 ご協賛企業・団体様 ありがとうございました

くしろせんもん学校

株式会社リリアブル

釧路短期大学

JU釧路 釧路地方中古自動車販売協会・事業協同組合

北海道教育大学釧路校

株式会社釧路厚生社

釧路信用金庫

一般社団法人日本自動車連盟釧路支部

釧路信用組合

株式会社釧路製作所

大地みらい信用金庫

岩倉建設株式会社 釧路営業所

環境コンサルタント株式会社

沢田建設株式会社

拓北地下開発株式会社

葵建設株式会社

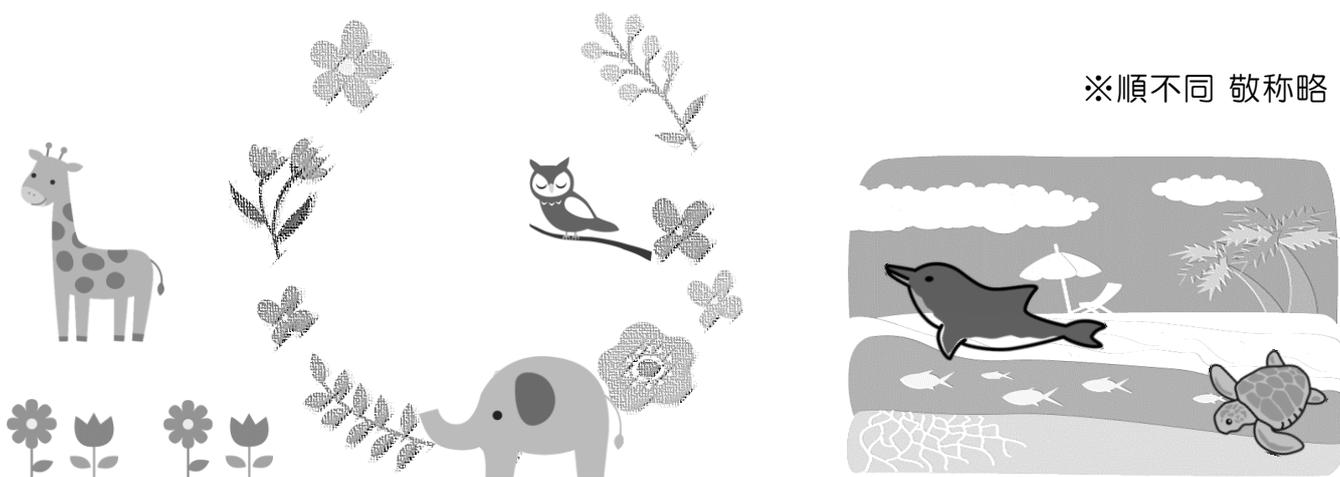
釧路ガス株式会社

株式会社田中組 道東支店

コープさっぽろ釧路地区本部

ネイチャーテック釧路株式会社

※順不同 敬称略



くしろエコ・フェア2022 事務局業務の流れ

2022年	1月	13日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	3月	24日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	4月	14日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	4月	27日	くしろエコ・フェア2022実行委員会
			○開催場所 釧路市中央図書館 7F多目的ホール・展示室
			○エコポスター募集決定
			○クイズラリー実施決定
	5月	25日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	6月	15日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	6月	22日	協賛協力依頼
	6月	23日	教頭会参加（エコ・フェア2022参加協力依頼）
	7月	13日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	7月	20日	協賛協力依頼
	7月	21日	協賛協力依頼
	8月	4日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	8月	24日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	9月	7日	エコポスターコンクール選考会
	9月	11日	釧路市中央図書館 会場事前調査
	9月	12日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	9月	21日	くしろエコ・フェア2022実行委員会・事務局会議
	10月	1日	くしろエコ・フェア2022開催
	10月	19日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	10月	20日	エコポスターの返却とお礼の挨拶回り
	11月	9日	くしろエコ・フェア2022実行委員会
	11月	22日	くしろエコ・フェア2022事務局会議・報告集作成作業
	12月	14日	くしろエコ・フェア2022事務局会議・報告集作成作業
2023年	1月	18日	くしろエコ・フェア2022事務局会議・報告集作成作業
	2月	22日	くしろエコ・フェア2022事務局会議
	2月	末日	くしろエコ・フェア2022報告集完成（予定）

『くしろエコ・フェア』 実行委員会規約

1 名称

この会は『くしろエコ・フェア実行委員会』と称し、事務所を釧路市民活動センターわっと内に置く。

2 目的

この会は環境に関心のある様々な団体・個人が集い、くらしと環境について考える場を共有し、次世代によりよい環境を伝えることを目的とする。

3 構成

この会に代表者1名、副代表2名、事務局長、会計、監事2名を置く。

代表は実行委員会の運営を統括し、副代表は代表を補佐する。

事務局長は運営全般及び実行委員会の活動に関する事務を行う。

会計は実行委員会の活動に伴って発生する会計についての事務を行う。

監事は会計及び業務監査を行う。

4 経費

実行委員会の活動に要する経費は、参加団体・個人が負担する。

5 その他

この規約に定めるものの他、必要事項は、実行委員会に於いて決定する。

<付則>

この規約は2007年3月28日より施行する。

この規約は2011年8月8日より施行する。

この規約は2012年4月7日より施行する。

編集後記

2019年6月にイオンモール釧路昭和で開催した後、2020年・2021年とコロナ禍の中、エコ・フェアを中止せざるを得ませんでした。

2022年になって、コロナの流行がどのようなになるかわからない中、パネル展示だけなら感染の危険を避けられるのではないかと、ということで開催を決めました。それまで環境月間の6月開催でしたが、SDGs週間(9月25日を含む週)に近い10月1日開催としました。会場には釧路市中央図書館の協力を得て、7階の多目的室と展示室をお借りすることができました。エコ・フェアとしては初めての場所で、慣れない中、バタバタとしている私たちにご協力くださった図書館の職員の皆様に感謝申し上げます。

例年、学校や、環境に注力されている企業様などに、協賛を求めて訪問させていただいております。二年間の休みの後、また、コロナ禍によって企業の厳しさが報道される中、私たちの活動に協力してくださるか、一抹の不安も抱えながら久しぶりに訪問させていただきました。ブランクがあったにもかかわらず温かく賛同して下さり、多くの学校・企業様から再びの協力を得、開催にこぎつけました。

また、公益財団法人北海道青少年育成協会から基金運用益交付金を得ることができ、この報告集をお届けできることとなりました。

イオン昭和店の「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」で事務用品などを購入することができました。皆様もイオン釧路昭和店でお買い物の際は、毎月11日の黄色いレシートを「くしろ エコ・フェア」のボックスに入れてくださると幸いです。

多くの方々に支えられて「くしろ エコ・フェア」を開催できました。ここに改めてお礼申し上げます。

出展者の皆様には初めての場所で不慣れな中、事務局の不手際もある中、御尽力いただきありがとうございます。それでも、今回は比較的狭いスペースということもあって、ほかの出展団体のブースが目に入り、行きやすく、交流も深められたのではないかと思います。

図書館という場所によるところが大きいと思いますが、来場者の皆様は、様々な事柄に対して真摯な姿勢で向かわれる方が多いのだと感じました。こまかい字の多いパネルも真剣に読んでくださっている姿が多くみられたことが印象的でした。ご来場くださった皆様に感謝申し上げます。

小中学校のご協力を得まして「エコポスターコンクール作品展」を開催しました。これまではエコ標語も募集したのですが、数が多すぎて事務局員では選考に苦慮する場面もあり、ポスターのみの募集としました。ご協力ありがとうございました。

このエコ・フェアは単年度ごとに開催の可否を決めてきたのですが、2007年以降、コロナで2回中断した以外はずっと続けてきた活動です。各団体の高齢化もあり、若い人、新しい団体の参加が望まれるところです。皆様のお声がけなどありますと今後の活動を継続していけるかと思います。どうかよろしく願い申し上げます。

くしろエコ・フェア実行委員会 事務局長 鈴木 仁